

文化

日和山(ひよのやま)とは、港近くの見晴らしの良い小山のこと。外海に面した港近くに多数分布する山のことである。航海に必要な天候判定のための日選りの場、航海安全祈願の場、また海岸から標山としても機能してきた。富城県石巻市の中和山は標高54m。桜ツツジの名所の花見山としても知られる。頂からは、鹿島御見神社の鳥居それに、石巻の市街や海原の先を見晴らすことができる。

▼宮城県石巻市の中和山

平成23(2011)年3月11日14時46分、東北地方太平洋沖地震が発生、最大震度7を記録した。テレビからは、石巻の日和山に駆け登る人たちの映像が何度も流れる中、奈良に住む私は、平穏の中いた。津波・地震の恐ろしさ、その難を逃れたために人々が駆け登った山、今起きていることの総体についておかねばならない、その想いが叶つたのは平成25(2013)年4月、震災から2年後のことであった。

▼2年後の現地入り

行くと急めてからの準備は難航した。宿が取れなかつた。震災2年後とはいえ、復興支援関連の予約が優先される状況下にあつた。レンタカー予約が取れたことを幸いとし車中泊前提で、4月26日金曜日、一闊から氣仙沼に入つた。

26日金曜日初日、まずは被災地域を北上すべく、気仙沼→陸前高田→大船渡の順に回つた。民家の壁に手書きされた浸水域、復旧してない橋の欄干、津波被書跡の生々しく残る民家、人気もなく更にねぬ後が続いたといふ。



広瀬地区の「河南鹿嶋はやし」。
左奥に仮設住宅が見える

岩城 こよみ 民俗通信

294

岩城 こよみ



岩城 こよみ

地の続く市街、震災「ミ」の山など、想像以上の被災の爪痕(めあと)に言葉を失つた。ハイールドワークで、どんな会話が成立し得るのか、途方に暮れたカメラのシャッターを切る以外のことはできずに、一日目を終えた。

▼震災後2晩、全く眠れず
地震発生時は自宅の風呂場に避難し、揺れが静まつたときに近所の人たちと裏山に登つた。泣く人もおらず、誰もがたどろく声で、激しいソナミボーリ包围された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれまいとホームのフェンスにつかまる人が何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけた。家の井戸は泥水をかぶつて使えなくなりたので、池に引いていた山水を洗い水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流れていた地区である。以下、当地区で家庭菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、揺れが静まつたときに近所の人たちと裏山に登つた。泣く人もおらず、誰もがたどろく声で、激しいソナミボーリ包围された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれまいとホームのフェンスにつかまる人が何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけた。家の井戸は泥水をかぶつて使えなくなりたので、池に引いていた山水を洗い水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流れていた地区である。以下、当地区で家庭菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼継続されている年中行事の事実

震災後、被災地の地区によっては継続

も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声で、激しいソナミボーリ包围

された。鹿折駅では、引き潮を持つ行かれ

まいとホームのフェンスにつかまる人が

何人もいた。火事と余震と津波の被害によつて震災後2晩は全く眠れなかつた。

震災後4日で、大阪の親類が駆けつけ

た。家の井戸は泥水をかぶつて使えなく

なつたので、池に引いていた山水を洗い

水として活用した。

震災後は、自家の敷地内に仮さんが流

れていた地区である。以下、当地区で家庭

菜園の手入れをされていた女性(昭和18年生まれ)から「放射線量が高くて孫には食べさせられない」と分かつているけ

ど、育たいの」という言葉を皮切りに聴いた話である。

同日午前8時、河南鹿嶋はやしを出

けして、「朝日山計仙麻神社の神輿渡御」も訪ねた。神社での出発式の後、天狗役を

先頭にした氏子青年団の神輿が、桜のぼ

イ」の掛け声で下りて来た。地区内を練

り、途中、子供神輿と合流した。昔は大曲

の海辺まで練つたこともあつたといふ。

▼震災後2晩、全く眠れず

地震発生時は自宅の風呂場に避難し、

揺れが静まつたときに近所の人たちと裏

山に登つた。泣く人もおらず、誰もがた

どろく声